

## 自分の進路は自分で決める

「自分の進路は自分で決める」というけど、「自分で決める」というのは、なかなか難しいこと。そう簡単に決められないから悩んだし、決めても「それが一番いい道なのか？」などと考えだしたら、急に不安になってきたりもします。

でも、「これで安心」というような道はないのです。「どんな進路がいいかは誰にもわからない」ものですから。どういう選択をしたとしても、どの道でもやっぱり不安・心配はつきもの。それは、これから新しい世界に飛び込むみんなが当然感じる未知の世界に対する怖さかも知れません。

そういう時期だからこそ、大人の話聞けると少し安心できるかも。

また、「自分の進路は自分で決める」という言葉は、「自分勝手に決めていい。親は口出ししてはいけない」という意味ではありません。保護者としてみんなの進学や生活の面倒を見ていくお母さん・お父さんたちがみんなの将来について意見をいうのは当然のことです。親としてのいろんな願いもあります。

そういう願いや意見もいっぱい聞いたうえで、最終的にはみんなが決めていってもらいたいということです。そういう努力があったうえで、初めて「自分の進路は自分で決めた」と言えるのではないのでしょうか。

まわりがどう考えても、やっぱり「自分の人生の主人公は自分(子どもたち自身)」なわけです。決して変わってあげることができない私たち大人は、そのことを大事にしながらかかわっていかねたらと願っています。

～ たのしい進路指導 中一夫より ～

### 入試説明会を終えて

一般入試まで130日でその中でも何日かはほとんど勉強できない日があつて・全然勉強する時間がないと改めて感じました。

いろいろと内容も決まってきた、私も時間管理をしっかりと、後悔のないような受験生活を送りたいと思いました。

お母さんもいろいろと資料に書き込んでいて、家族も協力してくれていることに感動し、家族からの期待にもちゃんと応えたいと思いました。

今までの人生の中で一番頑張ります。



受検用名札は、文具コーナー等に販売されているものです。

